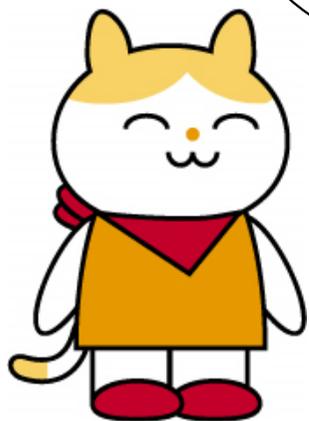


第1回 地元協議会

令和3年8月28日（土）

連絡調整・意見交換
連携協力の確認等
をしたいニヤリ



多摩ニュータウン環境組合

～ 本日の次第 ～

- 1 地元協議会発足のあいさつ
- 2 開会のあいさつ
- 3 地元協議会の委員紹介
- 4 連絡調整事項
 - (1) 地元協議会の運営について
 - (2) 施設老朽化への対応について
 - (3) 放射能測定について
- 5 その他

1 地元協議会発足の のあいさつ

2 開会のあいさつ

3 地元協議会の 委員紹介

4 連絡調整事項

- (1) 地元協議会の運営について
- (2) 施設老朽化への対応について
- (3) 放射能測定について

(1) 地元協議会の運営について

決めたいこと

- ア 地元報告会の役割を
地元協議会に移管することについて
- イ 開催時期について
- ウ 会議内容について

ア 地元報告会の役割を

地元協議会に移管することについて

周辺地域住民と組合が**相互に理解を深める**

⇒ 安全・安心の確保

⇒ 地域環境の保全

⇒ 工場の円滑な運営

ア 地元報告会の役割を 地元協議会に移管することについて

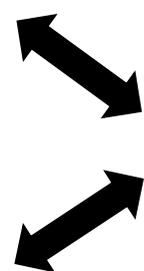
窓口を1つ にしたい

3月に
実施

地元報告会



地元協議会

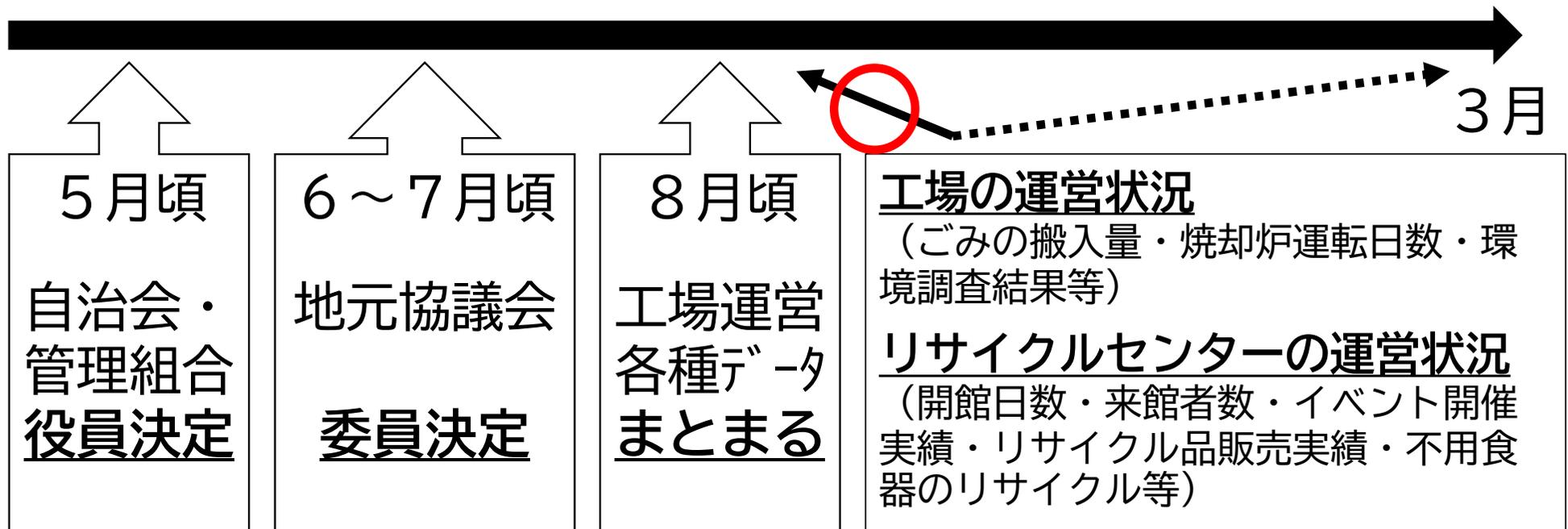


多摩ニュータウン環境組合



イ 開催時期について

開催時期は今回と同様に **8月下旬** としたい



ウ 会議内容について

(a) 定例報告

多摩清掃工場の運営について

（ 主な事業の取り組み/ごみ搬入量の推移/多摩清掃工場へのごみ搬入量
構成市間応援協定に基づく処理支援の状況/焼却炉運転日数/環境測定結果 ）

リサイクルセンターの運営状況について

予算概要について

事業予定について

その他

(b) 連絡調整

(2) 施設老朽化への対応について

「(仮称) 多摩清掃工場のあり方に関する
基本的な方針」策定支援業務委託

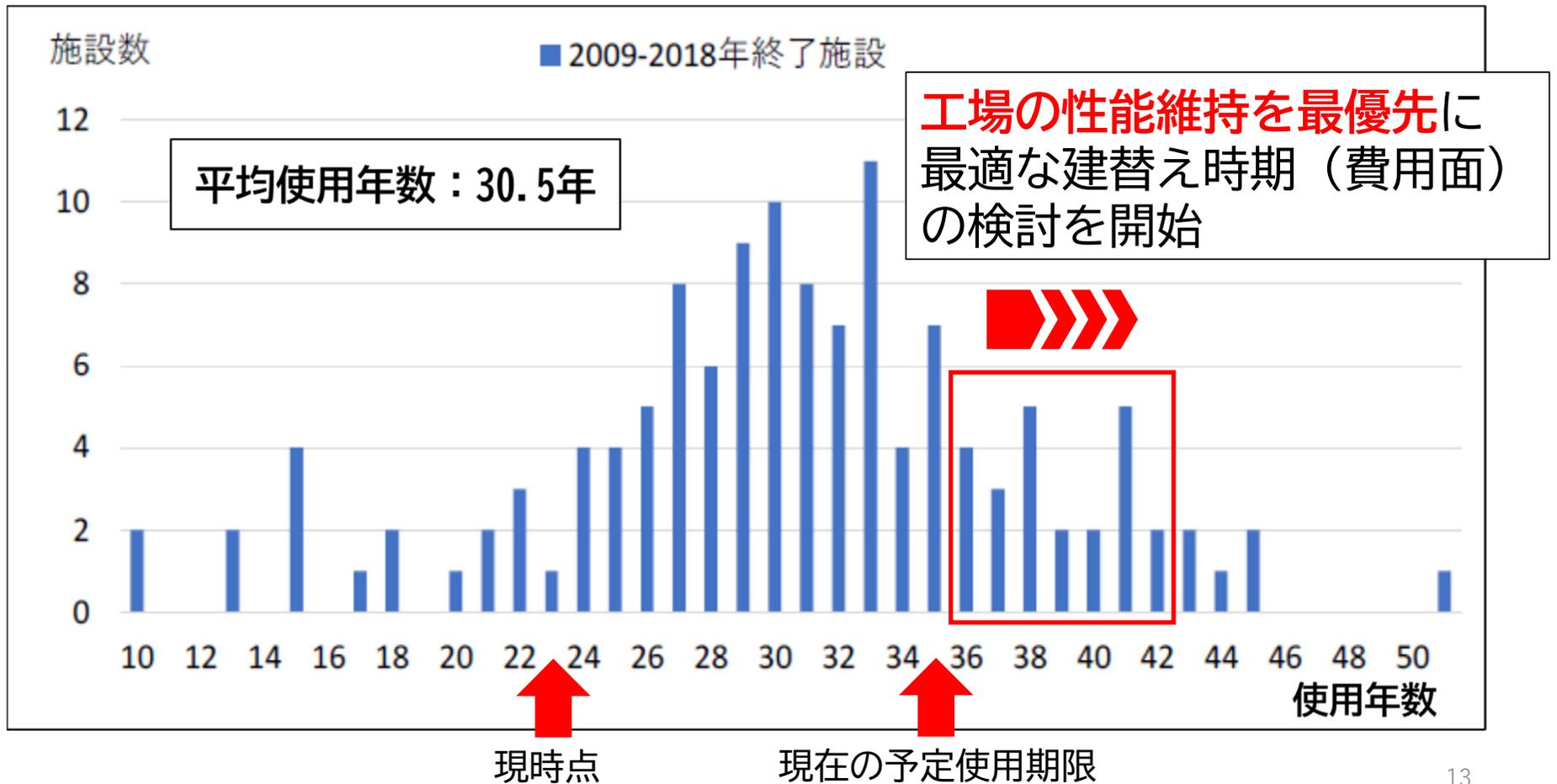
業務内容

最適な建替え時期の検討を開始

清掃工場に係る最近の動向調査

ごみ処理区域の広域化、工場の集約化のメリット・デメリット/最新の清掃工場
の環境性能/防災拠点としての役割/有効な地元還元方法

(2) 施設老朽化への対応について



(2) 施設老朽化への対応について

清掃工場に係る最近の動向調査

工場の広域化/集約化のメリット・デメリット/最新の清掃工場の環境性能/防災拠点としての役割/有効な地元還元

- ☆ 業務委託した調査結果は令和4年3月に報告する予定です。
- ☆ 今後、地元協議会で行う予定の「勉強会」「最新の工場視察」等で情報共有を図り、意見交換をしていきたいと考えています。

(3) 放射能測定について

特定一般廃棄物処理施設※における放射性物質の監視義務

※ 岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県又は東京都（島しょ部を除く）に所在する一般廃棄物の焼却施設

排ガス・焼却灰・飛灰固化物の放射性物質濃度（1回/月）および敷地境界の放射線量（1回/週）

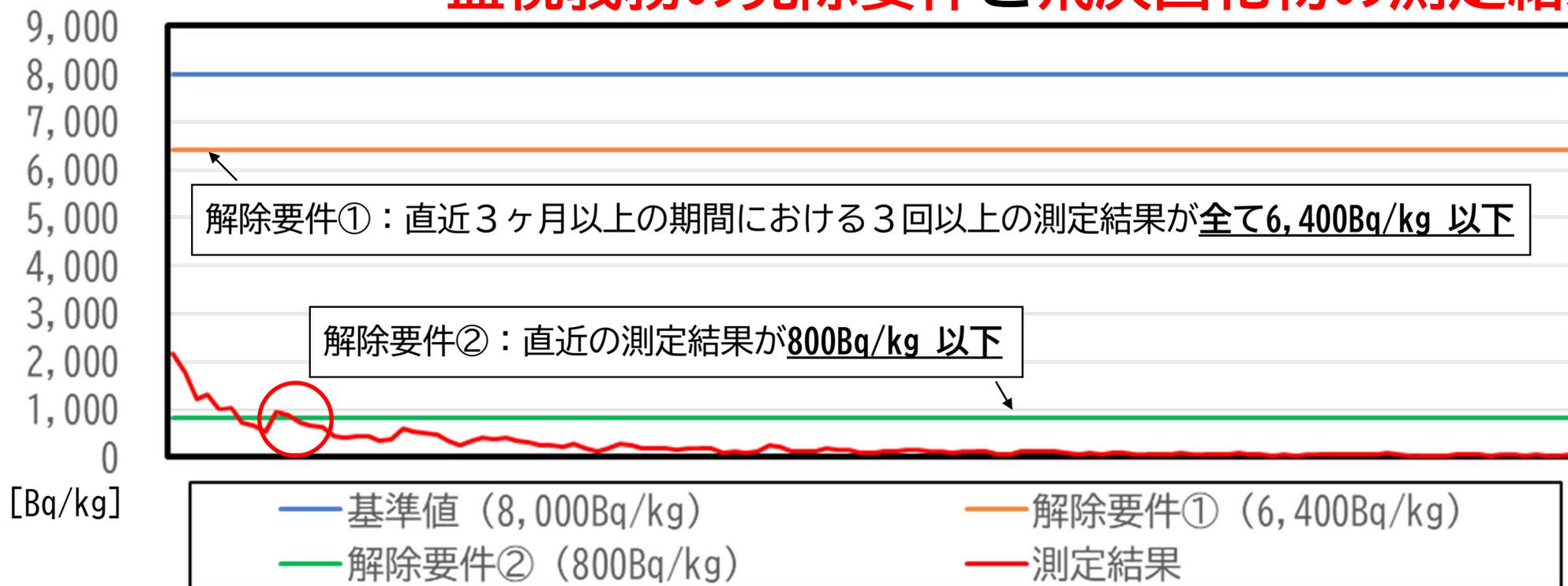
	平成23年度 最大値	令和2年度 最小値～最大値	令和3年度 直近データ（7/9）	基準値	単位
排ガス	不検出	不検出	不検出	下記参照	Bq/m ³ _N
焼却灰	251	不検出～20	不検出	8,000	Bq/kg
飛灰固化物	2,170	32～60	42.7		
敷地境界	0.14	0.05～0.09	0.06～0.09	0.23	μSv/h

排ガス基準：
$$\frac{\text{Cs-134}}{20} + \frac{\text{Cs-137}}{30} \leq 1$$

(3) 放射能測定について

特定一般廃棄物処理施設における放射性物質の

監視義務の免除要件と飛灰固化物の測定結果



(3) 放射能測定について

来年度に監視義務の免除を申請

東京たま広域資源循環組合に報告する

焼却灰と飛灰の測定は継続

※ 排ガス・敷地境界の放射線測定は頻度を減らしていく

質疑・ご意見等

そ の 他

次回地元協議会のご案内

日程：令和4年3月末頃予定

内容：施設老朽化への対応の報告
その他

閉 会

本日は、お忙しい中
お集まりいただき

誠にありがとうございました。